

職員派遣

り災証明書発行業務のため広島県海田町へ職員を派遣

7月19日～23日、広島県海田町へ職員3名の派遣を行いました。職員の被災地への派遣は、熊本地震に続き2度目となり、今回も住家被害認定調査員として支援活動を行いました。住家被害認定調査員とは、り災証明書（災害による被害の程度を証明する書面）を発行するために家屋の被害状況を調査するものです。被害が見込まれる家屋を外観目視で確認し、どのような被害を受けているか判断後、家屋の被害の状況に応じた被害認定票により浸水（被害）程度の判断をします。今回、海田町の被害状況としては山の斜面に造成した宅地に対し、尾根筋の沢沿いに土石流が発生した事による直接の住宅被害と、土石流による沢からの水の流れの変化による浸水被害が多く見られました。

職員の声



税務課 荒井 隆喜 課長補佐
被災地域が広範囲で行政にしてもボランティアにしても人手が足りないとの報道がされていたの聞き、自分にも何かできないものかと思っていた時に今回の派遣要請を受け、行ってきました。まだまだ支援の手を必要としています、皆様もできる範囲での支援をお願いいたします。



税務課 酒井 宗之 主事
平成27年9月に境町を襲った関東・東北豪雨でも、被害調査員として調査を行いました。その経験を生かし、海田町の方々の復興を微力ながら支援させて頂きました。一見すれば被害はないように見えても、深刻な被害が散らばっており、軒ごとの被害状況を調査しました。



建設課 戸塚 宏幸 主幹
関東・東北豪雨では全国から多くの温かい支援を受け、その時の感謝の気持ちを込めて支援させて頂きました。被害にあわれた方は今も過酷な状況にあります。その方々が一刻も早く被災者支援を受けられるよう、当時の災害対応経験を生かし迅速に調査を行いました。



土砂崩れにより岩や流木の直撃を受け、倒壊した家屋



倒壊を逃れても家屋内へ土砂が流入し甚大な被害に



花こう岩の風化によって出来る真砂土と呼ばれる砂による土砂たい積



水路が埋まった影響で水が道路上を流れるため、設置されている流入防止の土のう



外観目視により家屋外周を確認し被害状況を把握する



壁の痕跡汚れから、家屋の浸水深を測定する調査員

コンテナ 発送

宿泊施設となるコンテナ7台を岡山県倉敷市へ！ 輸送・設置費をガバメントクラウドファンディングで調達

7月11日に、簡易的な宿泊施設になるコンテナハウス3台を岡山県倉敷市に送りました。このコンテナハウスは、都内の不動産会社「株式会社アーネストワン」が開発し、町が災害対策として導入を検討し、町内に設置してあったものを急ぎ被災地に振り向けることにしました。そのため、輸送や現地での設置にかかる費用100万円は、自治体がオーナーとなって寄付を募るふるさと納税型の「ガバメントクラウドファンディング（GCF）」を活用し調達しました。さらに第二弾として、2日後の13日には、建設会社「株式会社アーキビジョン21」の協力のもと、ベッドに加えシャワー、キッチン付きの大型コンテナハウス4台を輸送。こちらは北海道より直送するため、必要経費260万円をGCFで調達しました。目標寄付額を達成する前ではありましたが、一刻も早く被災地へ届けるために動き出しました。避難者の方からも「避難所のすぐ横で、シャワーを浴びることができてうれしい」「エアコン付きでプライバシーが確保されている」等、喜びの声が届いています。

クラウドファンディングで資金調達

コンテナ7台分の輸送・設置費 計360万円が集まりました！



GCFへの応援メッセージ

- 境町様の迅速な決定に、たいへん感銘を受けました。道中の無事をお祈りし、わずかですが支援させて頂いたできます。（2018年7月9日）
- このトレーラーやコンテナが、今回だけでなく他の災害でも利用されることを願って。被災地における公衆衛生とプライバシー配慮の向上のために頑張って居てください！（2018年7月12日）
- 被災地に親族がいる者として、これほどありがたい取り組みはありません。微力ですが、応援させていただきます。（2018年7月13日）
- 境町の見える取り組みに感謝と希望を託します。微力ですが、被災地応援をしたいと思います。（2018年7月18日）
- 寄付の仕方について迷っている時に、使途が具体的に記載されていて、良い方法で役立てていただけそうだと心強く思いました。（2018年7月22日）
- 今回の災害で何を応援すればいいのか、と思った時に、早急に、かつ具体的に寄付金がどのように役立つか、ということを見せてくれたことで、とても寄付しやすく感じましたので感謝です。少しでも、お役にたきますように。（2018年7月22日）

様式の異なるコンテナ3台を被災地へ

岡山県倉敷市の避難所「二万小学校」に設置



岡山県倉敷市真備町地区の避難所となる二万小学校に設置



町から3台、(株)アーネストワンから1台が被災地へ輸送されました。宿泊設備や個室トイレ、シャワーなど、コンテナごとに1台ずつ用途がわかれた様式

コンテナ1 トイレ用



小便器4基、反対側に洋式の水洗トイレ4基

コンテナ2 シャワー用



トイレとシャワー、洗面台がセットになったコンテナ

コンテナ3 宿泊用



テレビ付きのカプセルスペース。1つのコンテナに4名宿泊可能

大型の宿泊用コンテナ4台を被災地へ

岡山県倉敷市の公民館に設置



岡山県倉敷市の公民館に、ボランティア本部用として設置された大型コンテナ。断熱性、気密性、遮音性、耐震性、耐久性のすべてで高性能を備えた移動式ハウスです



1つのコンテナで、4名の宿泊施設、シャワー、キッチン、トイレを完備。1台で自己完結でき、数が揃えばみなし仮設住宅としても有効

報道 災害支援の取り組みが テレビ、ラジオ、新聞に掲載

- テレビ ラジオ: 8件
- 7/9 NHK「茨城ニュースいば6」
 - 7/11 NHK「茨城ニュースいば6」
 - 7/13 NHK「ニュースウオッチ9」
 - 7/17 日本テレビ「newsevery」
 - 7/18 TBS「Nスタ」
 - 7/18 テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」
 - 7/18 テレビ朝日「スーパーJチャンネル」
 - 7/13 文化放送「斉藤一美ニュースワイド SAKIDORI」
- 新聞 8件
- 7/10 東京新聞 朝刊
 - 7/11 朝日新聞 朝刊
 - 7/12 茨城新聞 朝刊
 - 7/12 東京新聞 朝刊
 - 7/18 朝日新聞 夕刊
 - 7/20 茨城新聞 朝刊
 - 7/20 茨城新聞 朝刊
 - 7/20 産経新聞 朝刊



平成30年7月豪雨 災害義援金の受付について

受付期間 平成30年12月31日(月)まで

《役場で手続きを行う場合》
役場社会福祉課（1階）窓口までお越しください。
《金融機関で振り込みを行う場合》
右記の口座へお振込みください。窓口で、「義援金の申し込み」と伝えると手数料は無料となります。ATMでは手数料が発生します。

《振込先》

金融機関	支店名	口座番号	名義等
常陽銀行	本店営業部	(普)89731	日本赤十字社茨城県支部

《問合せ先》 日本赤十字社茨城県支部 電話 029-241-4516
役場社会福祉課 電話 0280-81-1305